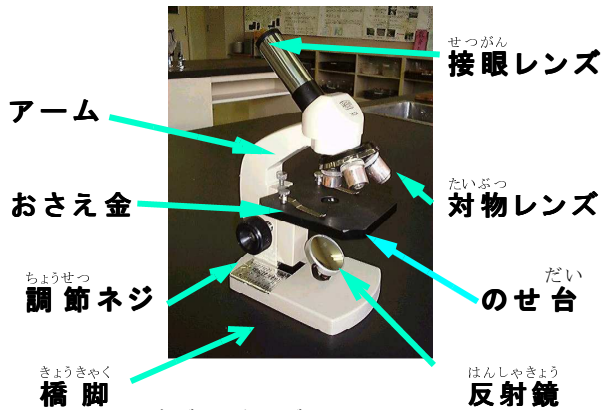


顕微鏡の使い方と注意点



① レンズを一番低い倍率にします。



② 光が入るように、反射鏡を調節します。



③ プレパラートをのせ台にのせます。



④ のせ台を、対物レンズ近くまで上げておいて、下げながらピントを合わせます。逆をすると、レンズをのぞいているうちにぶつかることがあります。

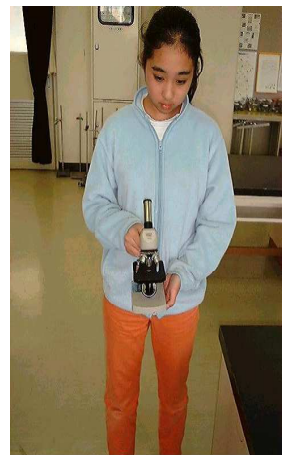


⑤ ピントがあったら、プレパラートの見たい部分を中央に動かします。

⑥ 低い倍率を高い倍率に上げて、観察します。



★ 顕微鏡の本体は、ショックにたいして弱いので、持ち運びには片手はアームを他の手は橋脚を支えるようにします。またケースを運ぶときは扉が開かないように抱えて持ちましょう。



○ レンズの汚れや傷、カビなどに注意しましょう。

○ 顕微鏡の視野が暗いようなときでも、直射日光が当たるような窓近くでは見えないかもしれません。

○ 明るすぎて見にくい場合は、絞りを変えたり、反射鏡の角度を変えてみるといいです。

○ 固定プレパラートを見るとき以外は、のせ台を傾けさせないようにします。またステージに水や他のものがついた場合には、すぐに拭き取りましょう。